

力動的事例スーパーヴィジョン

力動(ダイナミクス)を読む、扱う、介入する。その意味や技法があまりにも日本では知られていません。うつ、引きこもり、大震災後のトラウマ症候群、自殺未遂・リストカットなどの自己破壊症候群、アルコール等の addiction、悩まず周囲を困らす人格障害、発達障害、いじめ、虐待、あらゆる組織事故などが蔓延しています。このような表にあらわれる言動の著しい乱れや頑固な動かなさに圧倒されたり惑わされたりすることなく、その奥にある心の真実に向き合い、人生の充実のために心のエネルギーを解きほぐすことを可能にする力動的心理療法と心理力動論は、現代でこそなお、色褪せることなく光を放つものです。

本セミナーは、毎回、日本や世界の心理療法／精神療法を牽引してきた先達に向き合い、そのスーパーヴィジョンの仕事の中に、力動的心理療法／精神療法の本質を学び、その理論・技法・態度を確かに伝えていくためのIADPの新しい第一歩となるプログラムです。学びはじめの大学院生からヴェテランまで、あらゆる職種、学派を越えて、心理療法の魅力とパワーに触れてみましょう。ぜひ、お気軽にご参加ください。

プログラムディレクター 橋本和典
IADP事務局長・国際基督教大学准教授

内容

4月～11月にかけて全9回開催。

参加者にご提出頂いた事例を用いたスーパーヴィジョン・セッション2時間の後、スーパーヴァイザーの先生を囲んでのTea(自由参加)1時間、計3時間のプログラムです。

*各回のテーマ及び日時は次ページをご参照下さい。

会場

PAS(パス)心理教育研究所 (京王井の頭線 駒場東大前駅 徒歩3分)

参加費

■パック受講(全9回)

一般専門家 48,600円

IADP 会員・大学院生 40,500円

■単発受講(各回ごとのご受講)

一般専門家 6,000円

IADP 会員・大学院生 5,000円

*パック受講の場合、単発受講の1割引で全9回参加可能です。単発受講では、ご希望の回のみご参加頂けます。

対象

心の教育・治癒・治療に関わる専門家、力動的心理療法／精神療法・精神分析・力動論・集団力学に関心のある方(臨床心理士・精神科医・専門看護師(CNS)・臨床発達心理士・精神保健福祉士(PSW)・学校心理士・教師・養護教諭など)。または、上記の専門家を目指す大学院生。

臨床心理士資格更新研修ポイント

全9回のうち7回以上の受講者に「継続研修」4ポイントを付与します。

各回のテーマおよび講師紹介

第1回 精神科医療における精神療法 4月16日(土)16:30~19:30

講師: 吉松 和哉, M.D. (式場病院特別診療顧問)



東京大学医学部医学科卒業。医学博士。信州大学医学部精神医学教室教授、大正大学大学院臨床心理学専攻教授を経て、現在式場病院特別診療顧問。日本集団精神療法学会元理事長、日本精神病理学会元常任理事、等、日本の精神分析、精神医学会を牽引し、精神科医療における精神療法を実践してきた先達である。

第2回 青年の精神療法 精神医学的観点より 5月21日(土) 16:30~19:30

講師: 牛島 定信, M.D. (三田精神療法研究所所長)



九州大学医学部卒業。福岡大学医学部教授、東京慈恵会医科大学教授、東京女子大学教授などの経歴を持つ。日本精神分析学会会長、日本森田療法学会理事長、日本サイコセラピー学会理事長、日本児童青年精神医学会理事長など歴任。人格障害、青年期の精神病理の解明および力動的精神療法の実践、研究をリードしてきた先達である。

第3回 対人関係論・自己心理学 6月18日(土)16:30~19:30

講師: 鑪 幹八郎, Ph.D. (広島大学・京都文教大学名誉教授)



臨床心理士、精神分析家。熊本大学教育学部卒業、京都大学大学院教育学研究科博士課程修了。2015年秋、瑞宝中綬章受勲。日本のエリクソン研究の第一人者であり、ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所にて精神分析の訓練を受け、ハリー・スタック・サリヴァンの対人関係論を軸とした精神分析的な心理療法の実践およびスーパーヴィジョンの先達である。

第4回 発達障害と力動的アプローチ 7月16日(土)16:30~19:30

講師: 足立 智昭, Ph.D. (宮城学院女子大学教授)



臨床発達心理士。ライオンズクラブ心の復興プロジェクト震災復興心理・教育臨床センター代表。宮城県次世代育成支援対策地域協議会長など、宮城県の子どもの健全な発達・育成のオピニオン・リーダーである。乳幼児、子どもの育成に関して認知発達のなアセスメントと療育が専門である一方で、東日本大震災後に増加の一途をたどる発達障害が疑われる子どもたちの隠れた PTSD 問題に対し、力動的なアプローチから打開を図る先達である。

第5回 精神看護と力動的な心理療法 9月24日(土)16:30~19:30

講師: 宇佐美 しおり, Ph.D.

(熊本大学大学院 生命科学部精神看護学教授)



精神看護専門看護師 (Certified Nurse Specialist: CNS) 第14号。日本専門看護師協議会会長、日本看護系大学協議会高度実践看護制度推進委員、他。著書も多数あり、日本の精神看護領域における専門看護師の発展、普及、育成の第一人者である。CNSの仕事に、力動的な視点による危機介入および心理療法を導入し、その訓練養成も含めてシステム化を進め、精神看護と高度実践看護の理論開発に取り組んでいる。

第6回 うつと森田療法 10月15日(土)16:30~19:30

講師:北西 憲二, M.D. (森田療法研究所・北西クリニック)



東京慈恵会医科大学卒業。スイス・バーゼル大学精神科・うつ病研究部門に留学。東京慈恵会医科大学第三病院精神神経科科長として森田療法室に勤務、東京慈恵会医科大学精神医学教室助教授、成増厚生病院副院長を経て、1996年森田療法研究所・北西クリニックを開設。日本独自の精神療法である森田療法を研究、実践し、外来個人精神療法としての森田療法を現代の複雑化する「うつ」などの問題に対しての適用を進めている先達である。

第7回 青年期の心理療法および集団精神療法 11月2日(水)18:00~21:00

講師:セス・アロンソン, Psy.D., CGP, FAGPA

(ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所)



ホワイト研究所の教育課程理事、訓練・スーパーヴァイジングアナリスト、精神分析及び、児童・青年期精神療法のトレーニングプログラムのファカルティである。マンハッタン精神分析研究所のファカルティ、ロングアイランド大学の非常勤教授も務める。近刊予定の Handbook of Child & Adolescent Group Therapy (Routledge)のCo-エディターであり、青年期の個人及び集団精神療法において多くの実績を持つ先達である。

第8回 重度PTSDと子ども 11月8日(火)18:00~21:00

講師:ラルフ・モーラ, Ph.D., MSS, CAIA (個人開業)



米海兵隊のPTSD治療のエキスパート。アデルファイ大学ゴードン F.ダーナー高等心理学研究所にて学位取得後、アメリカ、ヨーロッパ、日本等において臨床活動を行ってきた。主に、子どもや重度のPTSDに対して積極的な心理療法を、精度の高いアセスメントを元に、時には CBT、来談者中心療法の技術も統合し、実践する先達である。

第9回 行き詰まり:抵抗-逆抵抗の鍵を開けようか 11月19日(土)

16:30~19:30

講師:小谷英文, Ph.D.(国際基督教大学名誉教授)



1975年アメリカに渡り C.R. Rogers に学び、ニューヨーク大学医学校卒業後研修コース、ダーナー研究所での訓練、研究をもとに精神分析的システムズ(PAS)心理療法を開発した。アメリカ精神分析医協会元会長 Edward L. Pinney 博士と共に当学会を設立、現理事長。多くのセラピストや医師が治療不能としてきたいわゆる「困難患者」との心理療法を、その人の持つ力動と治療者との間に展開する力動を鍵として実践してきた先達である。

*プログラムの構成

土曜 16:30~18:30 スーパーヴィジョン・セッション

18:30~19:30 講師を囲んでの Tea(自由参加)

平日(第7回、第8回) 開催日が平日のため、プログラム構成を以下のように変更いたします。

18:00~19:00 講師を囲んでの Tea (自由参加)

19:00~21:00 スーパーヴィジョン・セッション

19:00~のスーパーヴィジョン・セッションのみのご参加も可能です。お気軽にお申込下さい。

事例募集

本セミナーでは、参加者の方にご提出頂いた事例を用いて、スーパーヴィジョン・セッションを行います。初心者、ヴェテランは問いません。ぜひご自身の事例と体験を通しての学びの場としてご活用下さい。

事例提出をご希望の方は申込時に「事例提出希望」とご記入ください。事例提出希望者の申し込み締め切りはセミナー開催日の1ヶ月前となります。採否に関しては締め切り日以降、事務局よりご連絡いたします。

お申込方法

下記の必要事項をご記入の上、FAX または E-mail で学会事務局までお申込ください。

* 申込用紙が IADP ホームページよりダウンロード出来ます。ぜひご活用下さい。

①名前 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥所属 ⑦職種 ⑧最終学歴 ⑨経路 ⑩会員／非会員 ⑪事例提出希望の有無 ⑫パック受講or単発受講(参加希望の回を必ずお書き下さい) ⑬ポイント申請希望／不要

お申込連絡先 Fax:03-6407-8201 E-mail: iadp@iadp.info

お申込締切 パック受講 2016年4月9日(土)

単発受講 各回、開催日の2週間前

事例提出をご希望の方 各回開催日の1ヶ月前

注:お申込後 10 日程で事務局より受理通知をお送り致します。お待ち頂いても受理通知が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

注:定員(30名)に達し次第、お申込を締め切らせて頂きます。お早めにお申込下さい。

国際力動的心理療法学会

International Association of Dynamic Psychotherapy

1995年、理事長の小谷英文博士(国際基督教大学名誉教授)と故 Edward L. Pinney 博士(元アメリカ精神分析医協会会長)によって設立された。

心理療法に関する本質的知識と技術の集積を力動的見地から行い、心理療法の人類にとっての意味を深め、その臨床効果性を高める研究を推進することを目的とした学会である。

お申込み・お問い合わせ先

〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 PAS 心理教育研究所内

国際力動的心理療法学会事務局 担当:橋本麻耶(プログラム コ・ディレクター)

Tel & Fax:03-6407-8201 E-mail: iadp@iadp.info

IADP ホームページ: <http://www.iadp.info>